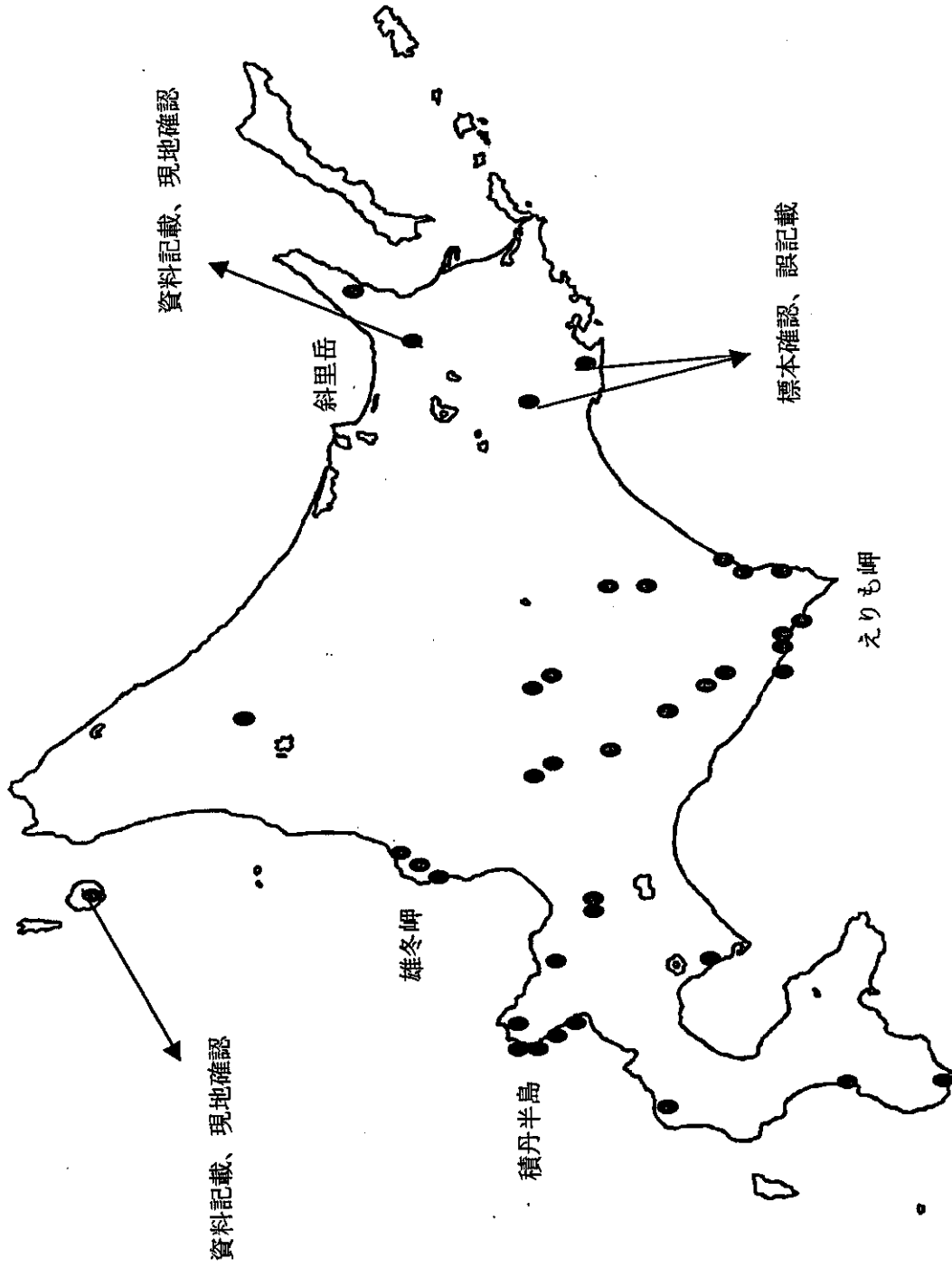


トウキ類植生調査地



薬用生物資源の分布調査とその活用に関する研究

分担研究者 平岡 昇 新潟薬科大学教授

研究要旨 主として新潟県とその近県に生育している薬用植物の実地調査を行い、生育確認地と確認年月日を記録し、一覧表としてまとめた。また、薬用植物の試験管内冷蔵保存に関する研究を続行するとともに、培養シュートの新株の確立や、再生植物の成分分析を実施した。

A. 研究目的

薬用生物資源の中で大きな比重を占めている植物の遺伝資源のうち、新潟県およびその近県に自生している薬用植物の現状を明らかにすることを目的として調査を実施した。

また、薬用植物の遺伝子源の保存法のひとつとして試験管内での植物の冷蔵保存法を検討した。

B. 研究方法

日本薬局方並びに日本薬局方外生薬規格集に記載されている薬用植物について、新潟県、福島県、山形県の野生植物を中心に実地調査を行い、生存が確認できた植物の一覧表を作成した。

植物の冷蔵保存法は以前報告した方法によった。HPLC法により成分分析した。

C. 研究結果

生存が確認された46種の薬用植物の名称、確認地名、確認日等は別紙一覧表のとおりである。

2年間冷蔵したオオバナオケラ、ハシリドコロ、エゾエンゴサク培養シュートからの再生植物が栽培段階となった。暖地性の木本性ダツラ、レモングラスのシュート培養を確立した。再生ハマボウフウの含有成分パターンは対照と類似していた。

D. 考察

今回の調査地域が分布区域とされている調査対象植物の多くは確認されたが、オケラ、オニユリ、カラスビシャク、キキョウ、クララ、センブリ、ハシリドコロなどは非常に少ないか、確認できない。ウツボグサも意外に少ない。

試験管内冷蔵保存した植物から増殖した苗を圃場あるいはプランター栽培した。オオバナオケラとハシリドコロは栽培が容易であったが、エゾエンゴサクは栽培地が海岸に近く適地でないため、生存率が低かった。

冷蔵ハマボウフウシュートの再生植物の地下部のクマリンおよびポリアセチレン化合物の含有パターンは非冷蔵系統と比較してよく類似していた。

E. 結論

別表に示す薬用植物の自生地での生存が確認された。オオバナオケラ、ハシリドコロ、エゾエンゴサクのシュートから植物を再生し、栽培した。暖地性の木本性ダツラ、レモングラスのシュート培養を確立した。再生ハマボウフウの成分組成は非冷蔵株と類似していた。

F. 研究発表

なし。

分担研究報告書

ヒトゲノム・遺伝子治療研究事業 (薬用植物資源の分布調査とその活用に関する研究)

分担研究者 香月 茂樹 国立医薬品食品衛生研究所種子島薬用植物栽培試験場場長

研究要旨：野生生物の存亡や資源の枯渇が叫ばれている今日、薬用植物においてもその実態を早急に把握し、方策を講じなければならない。それと平行して、その地域における栽培可能種の状況の把握も重要で、今回は奄美群島について調査した。

A. 研究目的

生薬生産国の生活向上による消費の増加、生産量の不安定状況、資源量の減少、品質の低下、野生生物の存亡などが叫ばれている今日、その多くを野生種から得ている薬用植物は、早急にその野生資源の実態を把握し、今後の永続的利用に向け、保護・保存・栽培化等の対策を講じねばならない。また、現在の栽培種を確認し、類似環境に生育している種類の栽培化の可能性をさぐる基礎資料とするものである。

B. 研究方法

植物の確認は目視と信頼おける文献と写真・採種記録によった。個々の効能や対象病名等については類似研究による引用頻度の高い文献を引用・参考とした。

C. 研究結果

種々の調査・文献によると、自生種と栽培からの逸出・帰化植物の品種を含めて維管束植物以上では185科1464種が報告されている。また、野生種以外の導入栽培種では102科380種が確認(主として奄美大島)できた。

薬用栽培植物(自生の栽培種も含む)についても、他地域と比較してもその種類は多く、次のとおり確認できた。

裸子植物	6科	11種(内栽培種	8種)
双子葉植物	72科	206種(同	114種)
単子葉植物	20科	68種(同	41種)
シダ植物	9科	10種(同	2種)
計	107科	295種(同	165種)

気象条件(名瀬市:1961年~1990年)

月別平均気温 14.2℃(最寒月:1月)
28.4℃(最暖月:7月)
年平均気温 22.4℃
最高気温の平年値 32.1℃(7月)
(過去最高気温 37.3℃:1896年から)
最低気温の平年値 11.3℃(1月)
(過去最低気温 3.1℃:同)
年間降水量 2870.7mm
年間日照時間 1436時間

大隅諸島と奄美諸島の間位置する生物分布の区分線である渡瀬線の南に位置し、亜熱帯という環境に属するが、温帯的(本土的)植物や熱帯的植物で生育可能なものも多数確認できた。

温帯的植物: イチョウ、スギ、モモ、ボケ、ミシマサイコ、メハジキ等

熱帯的植物: ベニノキ、パパイヤ、クミスクチン、ムラサキオモト、ビンロウジュ等

開花・萌芽に冬季の低温を必要とする植物では、開花や採種、春先の生育にかなり影響するように思われる。アブラナ科、サクラ属

D. 考察

生物地理学的、気象学的、地理学的に微妙な位置にあり、特異的な場所と考えられる。

E. 結論

南北に長い地域で、自然がくれた植物栽培実験場とも言え、熱帯・亜熱帯有用植物の栽培試験の絶好の場所と言える。

—奄美の薬用植物(栽培植物)—

奄美地方の薬用植物のうち栽培されているもの(※)、あるいは栽培が可能と思われるものについて記した。行頭が無印の種は、自生種または栽培種が逸出し野生状態になっているものである。栽培種については、多くは奄美大島での確認による。

凡例

種の配列は新エングラ(1964年)の分類に基づいている。

行内の配列は概ね学名・種名(利用部位・生薬名とその漢字表記・生薬名・効能や適用病症他)となっている。

自生種で特記なき場合は、奄美諸島全域を示し、奄は奄美大島、喜は喜界島、徳は徳之島、沖は沖永良部島、与は与論島である。

※栽培種 行頭が無印のものは自生、帰化、あるいは栽培種が逸出し野生化しているもの

【】有毒であったり毒性が強く一般での使用が危険、または避けた方がよいもの。

SPERMATOPHYTA 種子植物

GYMNOSPERMAE 裸子植物

●Cycadaceae ソテツ科

Cycas revoluta Thunb. ソテツ【種子:蘇鉄実 ソテツジツ 鎮咳・健胃・通経】

●Ginkgoaceae イチョウ科

※ *Ginkgo biloba* L. イチョウ(種子:銀杏 ギンキョウ・白果 ハクカ 鎮咳・去痰)

●Podocarpaceae マキ科

Podocarpus macrophyllus D. Don イヌマキ(種子・花托:羅漢松実 ラカンショウジツ 心胃痛)

●Pinaceae マツ科

Pinus lutchuensis Mayr. リュウキュウマツ:奄・徳・沖(樹脂:テレピンチナ 軟膏等基剤)

※ *Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. アカマツ(樹脂:テレピンチナ 軟膏等基剤)

※ *Pinus thunbergii* Parl. クロマツ(樹脂:テレピンチナ 軟膏等基剤)

※ *Pinus palustris* Mill. ダイオウショウ(樹脂:テレピンチナ・生松脂 皮膚刺激)

●Taxodiaceae スギ科

※ *Cryptomeria japonica* D. Don スギ(葉:杉葉 サンヨウ 消炎・鎮痛/樹脂:杉脂 サンシ 松脂代用)

●Cupressaceae ヒノキ科

※ *Chamaecyparis obtusa* Endl. ヒノキ(精油:尿路消毒)

※ *Thuja occidentalis* L. ニオイヒバ(精油:利尿・通経)

※ *Thuja orientalis* L. コノテガシワ(葉:側柏葉 ソクハクヨウ・種子:柏子仁 ハクシジン 収斂・止血・止瀉)

ANGIOSPERMAE 被子植物

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物

CHORIPETALAE 離弁花類

●Myricaceae ヤマモモ科

Myrica rubra Sieb. et Zucc. ヤマモモ:奄・徳・沖(樹皮:楊梅皮 ヨウバイヒ 収斂)

●Betulaceae カバノキ科

※ *Alnus sieboldiana* Matsum. オオバヤシャブシ(果実:収斂)

●Moraceae クワ科

Broussonetia kazinoki Sieb. コウゾ:奄(柔らかい枝葉・樹汁・根皮:薄皮麻 コウヒマ 活血・利尿・解毒・打撲傷・牛皮癬)

Broussonetia papyrifera Vent カジノキ(果実:楮実 チョジツ 滋腎・清肝明目・虚勞・水腫/若い根・根皮:楮樹根 チョジュコン 水腫・打撲傷・止血/樹皮の韌皮部:楮樹白皮 チョジュハクヒ 止血・水腫・痔瘡・咳嗽)

Ficus pumila L. オオイタビ(茎葉:絡石藤 ラクセキトウ リウマチ痛・止瀉・打撲)

Ficus microcarpa L. f. ガジュマル(氣根:榕鬚 ヨウシュ 打撲傷・骨折・消腫・消炎・止痛・利尿・止咳・関節リウマチ痛/果実 榕樹果

ヨウジュカ 下腿潰瘍/樹脂 榕樹膠汁 ヨウジュコウジュウ 瘰癧・唇疔・牛皮癬/樹皮 榕樹皮 ヨウジュヒ 止瀉・疥癬・痔瘡・瘡瘍/葉:榕樹葉 ヨウジュヨウ 打撲傷・止痛・骨折・解熱・止咳・止血・止瀉・マラリア)

Ficus pumila L. オオイタビ(茎葉:絡石藤 ラクセキトウ・種子:王不留行 オウフルギョウ リウマチ痛・止瀉・打撲傷・止血/根 藤荔根 ヘイレイコン リウマチ関節痛・頭痛・めまい/花序托:木饅頭 モクマントウ 消腫・止血・活血・乳汁不通・通経)

Morus australis Poir. シマグワ(葉:小葉桑 止咳)

※ *Ficus religiosa* L. インドボダイジュ(樹皮:印度菩提樹皮 インドボダイジュヒ 齒痛)

●Urticaceae イラクサ科

Boehmeria nivea Gaudich ナンバンカラムシ:沖(根:苧麻根 チョマコン・苧根 止血・解熱・利尿・解毒・打撲傷・蛇虫咬傷/莖皮:苧麻皮 チョマヒ 止血・利尿/葉:苧麻葉 チョマヨウ 涼血止血・消炎・解毒)

●Polygonaceae タデ科

Polygonum cuspidatum Sieb. et Zucc. イタドリ:奄(根茎:虎杖根 コジョウコン 緩下・利尿・通経・鎮咳)

※ Fagopyrum esculentum Moench ソバ(種子:蕎麦 キョウバク 腫れ物/莖葉:蕎麦精 キョウバクカツ 腫れ物・止血・血管強化)

●Phytolaccaceae ヤマゴボウ科

※ Phytolacca americana L. ヨウシュヤマゴボウ【根:美商陸 ビショウリク 利尿】

●Nyctaginaceae オシロイバナ科

Mirabilis jalapa L. オシロイバナ【根:紫茉莉根 シマツリコン 水腫】

※ Bougainvillea spectabilis Willd. (根・葉:緩下・利尿・黄疽)

●Aizoaceae ハマミズナ(ツルナ)科

Tetragonia tetragonoides Kuntze. ツルナ(全草:蕃杏 バンキョウ 健胃・解毒・消腫)

●Basellaceae ツルムラサキ科

※ Basella rubra L. ツルムラサキ(葉・全草:落葵 ラクキ 清熱・涼血・解毒・消炎・止血・疔瘡・便秘・痢疾・火傷)

●Chenopodiaceae アカザ科

Salsola komarovii Iljin オカヒジキ:徳(全草:高血圧症)

●Amaranthaceae ヒユ科

Celosia argentea L. ノゲイトウ(種子:青箱子 セイショウシ 強壯・消炎・高血圧症)

※ Celosia cristata L. ケイトウ(花:鶏冠花 ケイカンカ 止血・止瀉/種子:鶏冠子 ケイカンシ 止血)

※ Gomphrena globosa L. センニチコウ(花序・全草:千日紅 センニチコウ 喘息咳嗽・百日咳・目眩・痢疾・瘰癧・瘡瘍)

●Magnoliaceae モクレン科

※ Magnolia denudata Desr. ハクモクレン(蕾:辛夷 シンイ・玉蘭 ギョクラン 鎮静・鎮痛・消炎)

※ Magnolia liliflora Desr. モクレン(蕾:辛夷 シンイ 鎮静・鎮痛・消炎)

●Schisandraceae マツブサ科

Kadsura japonica Dunal サネカズラ(果実:南五味子 ナンゴミシ 滋養・強壯・鎮咳)

●Illiciaceae シキミ科

Illicium religiosum Sieb. et Zucc. シキミ:奄・徳【果実:シキミ実 薫香料:家畜皮膚寄生虫駆除・嘔吐・瀉下・呼吸障害・循環器障害】

●Lauraceae クスノキ科

Cinnamomum camphora Sieb. クスノキ:徳【材から得られた精油:樟腦 ショウノウ 局所刺激・防腐・強心】

Cinnamomum okinawense Hatusima ニッケイ:徳(根皮:肉桂皮 ニッケイヒ・日本桂皮 ニホンケイヒ 香料)

Nachilus thunbergii Kosterm. タブノキ(樹皮:紅楠皮 コウナンヒ 捻挫・鎮痛)

※ Cinnamomum camphora Sieb. forma linaloolifera Sugimoto ホウショウ(材:リナロール原料)

※ Cinnamomum cassia Nees ex Blume シナニッケイ(樹皮:桂皮 ケイヒ 健胃・整腸・驅風・矯味・解熱・鎮痛)

※ Cinnamomum zeylanicum Nees セイロンニッケイ(樹皮:セイロン桂皮、精油:桂皮油 健胃・発汗・解熱・驅風・鎮痛)

※ Laurus nobilis L. ゲッケイジュ(果実:月桂実 ゲッケイジツ 健胃/葉:ローレル・月桂葉 ゲッケイヨウ 健胃・驅風・去痰・利尿)

●Ranunculaceae キンポウゲ科

Clematis terniflora DC. センニンソウ:奄・喜・沖【根:鉄脚威靈仙 テッキョウイレイセン 利尿・整腸・鎮痛】

●Lardizabalaceae アケビ科

Stauntonia hexaphylla Decne. ムベ:奄・徳・沖(茎・根:野木瓜 ヤモクカ 強心利尿)

●Menispermaceae ツツラフジ科

Cocculus laurifolius DC. コウシュウヤク:奄・徳・沖(根:衡州烏薬 コウシュウヤク 利尿・驅虫)

Cocculus orbiculatus DC. アオツツラフジ:奄・徳・沖・与(茎・根:木防已 モクボウイ 利尿・鎮痛)

Sinomenium acutum Rehd. et Wils. オオツツラフジ:与(茎・根茎・根:防已 ボウイ 消炎・鎮痛・利尿)

●Saururaceae ドクダミ科

※ Houttuynia cordata Thunb. ドクダミ(全草:十葉・重葉 ジュウヤク 解熱・解毒・消炎/腫れ物・蓄膿症・痔)

●Chloranthaceae センリョウ科

Sarcandra glabra Nakai センリョウ(枝・葉:九節茶 キュウセツチャ 打撲傷・骨折・創傷・火傷・リウマチ性関節炎・毒蛇咬傷)

Sarcandra glabra Nakai f. flava Hatusima キミノセンリョウ(母種 前述)

●Theaceae ツバキ科

Camellia japonica L. ヤブツバキ(種子:油脂原料:ツバキ油)

Camellia sasanqua Thunb. サザンカ:奄・徳(種子:油脂原料)

Ternstroemia gymnanthera Sprague モッコク:奄・徳・沖(葉・花・果実:白花果 ハクカカ 消腫・止痛・癰疽腫毒・乳腺炎)

※ Thea sinensis L. チャノキ(葉:茶葉 チャヨウ 利尿・止瀉・収斂・含嗽・カフェイン原料)

●Guttiferae オトギリソウ科

※ Hypericum monogynum L. ビヨウヤナギ(根:金糸桃 キンシトウ 咽喉炎・結膜炎・痔瘡)

※ Hypericum patulum Thunb. キンシバイ(全草:芒種花 ボウシュカ 解毒・利尿)

●Papaveraceae ケシ科

※ Papaver rhoeas L. ヒナゲシ(花・全草:麗春花 レイシュンカ 鎮咳・鎮静)

●Capparidaceae フウチョウソウ科

Crataeva religiosa G. Forster ギョボク(葉:鷲脚木葉 ガキョクボクヨウ 清熱・解毒・健胃・腫れ物・蛇咬傷)

●Cruciferae アブラナ科

Nasturtium officinale R. Br. オランダガラシ:奄(全草:西洋菜乾 セイヨウサイカン 消化・清血・利尿・驅虫・解熱)

※ *Brassica juncea* Czern. カラシナ(種子:芥子 ガイシ 局所刺激・鎮痛・去痰・辛味性健胃)

※ *Raphanus sativus* L. var. *hortensis* Baker ダイコン(種子:菜薹子 ライフクシ 健胃・痰切り・止咳・利胆/根:健胃・解熱・止咳・打撲/葉:浴湯料)

●Crassulaceae ベンケイソウ科

Bryophyllum pinnatum Okcn セイロンベンケイ(全草・根:落地生根 ラクチセイコン 止血・消腫・消炎・解毒・打撲傷・関節痛・疔瘡・火傷・乳腺炎)

●Saxifragaceae ユキノシタ科

※ *Hydrangea macrophylla* Ser. var. *macrophylla* アジサイ(花・葉:紫陽花 ショウカ 解熱)

●Pittosporaceae トベラ科

Pittosporum tobira Ait. トベラ(枝・葉:海洞 カイトウ 皮膚病・通経・解毒・止痛)

●Rosaceae バラ科

Agrimonia pilosa Ledeb. キンミズヒキ(全草:仙鶴草 センカクソウ 止瀉・止血・利胆・収斂・抗菌)

Photinia serratifolia Kalkb. オオカナメモチ:奄・徳・沖(葉:石南葉 セキナンヨウ 鎮痛・利尿・強壯)

Prunus zipperiana Miq. バクチノキ:奄・徳・沖(葉:バクチ葉 鎮咳)

Raphiolepis umbellata Makino シャリンバイ(根:打撲/葉:消炎・腫れ物)

※ *Chaenomeles speciosa* nakai ボケ(果実:木瓜 モッカ 鎮痙・鎮咳・利尿)

※ *Eriobotrya japonica* Lindl. ビワ(葉:枇杷葉 ビワヨウ 消炎・利尿・鎮咳・健胃・止瀉/種子:枇杷仁 ビワニン 杏仁水代用品製造)

※ *Prunus persica* Batsch. モモ(種子:桃仁 トウニン 消炎性駆瘀血・鎮咳/花:白桃花 ハクトウカ 利尿・瀉下/葉:桃葉 トウヨウ 鎮咳・湿疹)

※ *Prunus salicina* Lindl. スモモ(果実:李子 リシ 鎮咳/葉:李葉 リヨウ 汗疹)

●Leguminosaceae マメ科

Derris elliptica Benth. ハイトバ:奄【根:デリス根 農業用殺虫】

※ *Arachis hypogaea* L. ナンキンマメ(種子:落花生 ラッカセイ 油脂原料・補脾潤肺・脚気・反胃・乳汁不足/枝葉:落花生枝葉 ラッカセイシヨウ 打撲傷・瘡毒・不眠/脂肪油:落花生油 ラッカセイユ 製剤原料/種皮:花生衣 カセイイ 止血・散消腫)

※ *Cassia fistula* L. ナンバンサイカチ(果実:蔞羅門皂莢 パラモンソウキョウ・阿勃勒 アボツロク 緩下)

※ *Cassia obtusifolia* L. エビスグサ(種子:決明子 ケツメイシ 緩下・利尿・強壯・整腸)

※ *Cassia torosa* Cav. ハブソウ(種子:望江南 ボウコウナン 緩下・健胃)

※ *Clitoria ternatea* L. チョウマメ(根・葉:利尿・駆虫・瀉下・消腫/種子:通経)

※ *Cytisus scoparius* Link エニシダ【枝葉:エニシダ枝 子宮収縮・頻脈】

※ *Erythrina cristagalli* L. アメリカデイコ・カイコウス(樹皮:創傷・便秘/葉・花:鎮静)

※ *Glycine max* Merr. ダイズ(種子:油脂原料)

●Oxalidaceae カタバミ科

※ *Averrhoa carambola* L. グレンシ(果実:陽桃 ヨウトウ 風熱咳嗽・咽喉痛・口渇・歯痛/葉:陽桃葉 利尿・止血・瘰癧・疥癬/花:陽桃花 寒熱往來/根:陽桃根 慢性頭痛・関節痛)

●Geraniaceae フウロソウ科

Geranium thunbergii Sieb. et Zucc. ゲンノショウコ:奄(全草:収斂止瀉・整腸・健胃)

※ *Pelargonium radula* L'Éér. var. *roseum hort.* (葉:香料)

●Euphorbiaceae トウダイグサ科

Bischofia javanica Bl. アカギ:奄(根・樹皮・枝葉:秋楓木 シュウフウボク 活血消腫・痢疾・瘰癧腫痛・リウマチ痛)

Euphorbia heterophylla L. ショウジョウソウ(全草:葉象花 ヨウショウカ 打撲傷・骨折)

Mallotus philippinensis Muell.-Arg. クスノハガシワ(果実の腺毛:カマラ・呂宋楸毛 ルソンシュウモウ・粗糠柴 ソコウサイ 条虫 駆除/根 月経不順)

Ricinus communis L. トウゴマ:奄(脂肪油:蓖麻子油 ヒマシユ 瀉下)

※ *Sapium sebiferum* Roxb. ナンキンハゼ(根皮:烏蒿 ウキユウ 利尿消腫・殺虫/果実 木蠟代用)

●Rutaceae ミカン科

Citrus tachibana C. Tanaka タチバナ:奄・喜(熟果皮:橘皮 キッピ 芳香性健胃)

Murraya paniculata Jack ゲッキツ(枝葉:九里香 キュウリコウ 湿疹・鎮痛・疥癬/根:九里香根 キュウリコウコン 湿疹・打撲傷・疥癬)

※ *Citrus aurantium* L. subsp. *amara* Engl. ダイダイ(未熟果:枳実 キジツ・枳殼 キコク 芳香性苦味健胃・驅風/熟果皮:橙皮 トウヒ 芳香性苦味健胃)

※ *Citrus grandis* Osbeck ザボン(根:柚根 ユウコン 風寒咳嗽・胃痛・疝氣疼痛/葉:柚葉 寒湿痺痛・食滯腹痛・関節痛/果皮:柚皮 食滯・氣鬱胸悶・咳嗽・疝氣・消腫利尿/花:柚花 鎮痛)

※ *Citrus medica* L. var. *sarcodactylus* Swingle ブシュカン(果実:仏手柑 ブシュカン 芳香性苦味健胃・驅風・去痰)

※ *Citrus natsudaidal* Hayata ナツミカン(未熟果:枳実 キジツ・枳殼 キコク 芳香性苦味健胃・驅風/果皮:夏皮 ナツカワ 橙皮の代用)

※ *Citrus reticulata* Blanco ポンカン(果皮:芳香性健胃・驅風・去痰・鎮咳)

※ *Citrus unshiu* Marcov. ウンシュウミカン(熟果皮:陳皮 チンピ 芳香性健胃・止瀉・鎮咳・鎮嘔/未熟果:枳実 キジツ・枳殼 キコク 芳香性苦味健胃・驅風)

※ *Clausena lansium* Skceels ワンビ(果実:黄皮果 オウヒカ 痰飲咳嗽/葉:黄皮葉 オウヒヨウ 感冒・マラリア・利尿・痰咳哮喘/根:黄皮根 オウヒコン 胃痛・消腫・利尿・マラリア/種子:黄皮果核 オウヒカカク 胃痛・疝氣・蛇虫咬傷)

●Simaroubaceae ニガキ科

Picrasma quassioides Benn. ニガキ:奄・喜・徳(材:苦木 ニガキ 苦味健胃・農業用殺虫)

●Meliaceae センダン科

Nelia azedarach L. var. *subtripinnata* Miq. センダン(樹皮:苦楝皮 クレンピ 驅虫/果実:苦楝子 クレンシ整腸・鎮痛・しもやけ)

●Anacardiaceae ウルシ科

Rhus succedanea L. ハゼノキ(熟果:木蠟 モグロウ 坐剤・軟膏蒸剤)【全株:皮膚炎を生ず】

※ *Mangifera indica* L. マンゴー(果実:芒果 ボウカ 利尿・鎮嘔・調経/種子:芒果核 ボウカカク 驅虫・疝氣)

●Sapindaceae ムクロジ科

Sapindus mukorossi Gaertn. ムクロジ:奄(果皮:延命皮 エンメイヒ 強壯・止血・去痰/樹皮/強壯・去痰)

※ *Euphoria longan* Steud. リュウガン(仮種:龍眼肉 リュウガンニク 滋養強壯・鎮静・不眠・健忘/葉・若い芽:龍眼葉 リュウガンヨウ 感冒・疔腫痔瘡・マラリア/花:龍眼花 淋病/果皮:龍眼殼 心虚頭暈・火傷/種子:龍眼核 止血・排膿消腫・疥癬・打撲傷/樹皮:龍眼樹皮 消腫解毒・消炎/根・根皮:龍眼根 白帶・糸虫病)

※ *Litchi chinensis* Sonn. レイシ(果実:荔枝 レイシ/種子:荔枝核 レイシカク 収斂・鎮痛・消炎/外果皮:荔枝殼 レイシカク 止瀉・子宮出血・湿疹/根:荔枝根 レイシコン 胃痛・腹痛・遺精)

●Aquifoliaceae モチノキ科

Ilex rotunda Thunb. クロガネモチ(樹皮・根皮:救必応 キウヒツオウ 清熱解毒・消腫止痛・打撲傷・火傷・リウマチ性関節痛・鳥もち原料)

●Celastraceae ニシキギ科

Euonymus japonicus Thunb. マサキ(根:綱經草 チョウケイソウ 月経不順・月経痛/樹皮:和杜仲 ワトチュウ 強壯・利尿)

●Malvaceae アオイ科

Abutilon theophrasti Medic. イチビ:喜(全草:葉:苘麻 ケイマ 消腫・解毒・痢疾/根:苘麻根 ケイマコン 痢疾・小便淋瀝)

※ *Hibiscus rosa-sinensis* L. フソウゲ(花:扶桑花 フソウカ:葉:扶桑葉・根 扶桑根 調経・痢疾・腫れ物)

●Bombacaceae パンヤ科

※ *Pachira aquatica* Aublet ギアナグリ(葉:軟化剤)

●Sterculiaceae アオギリ科

Firmiana simplex W. F. Wight アオギリ:奄・沖(種子:梧桐子 ゴトウシ 健胃・消食/樹皮 梧桐皮 打撲・調経)

●Passifloraceae トケイソウ科

※ *Passiflora alata* Dryander (葉:鎮静・催眠/根・種子:驅虫)

※ *Passiflora caerulea* トケイソウ(根:痛風・打撲/葉:止咳・驅虫)

※ *Passiflora edulis* Sims クダモノトケイ(葉:便秘・利尿/葉:出血性潰瘍/根・葉・種子:驅虫)

※ *Passiflora quadrangularis* L. オオミノトケイソウ(葉:鎮静・止咳・利尿・驅虫/根:条虫駆除/果実:利尿・浄血・健胃)

●Bixaceae ベニノキ科

※ *Bixa orellana* L. ベニノキ(仮種皮:着色料・驅風/根:消化促進/若芽:洗眼/葉:止吐/種子:健胃・緩下・火傷)

●Tamaricaceae ギョリュウ科

※ *Tamarix chinensis* Lour. ギョリュウ(幼枝の葉:檉柳 テイリュウ 感冒・咳嗽・利尿解毒・リウマチ性関節炎)

●Caracaceae パパイア科

※ *Carica papaya* L. パパイア(乳液:蛋白質消化・腸寄生虫駆除)

●Cucurbitaceae ウリ科

※ *Benincasa hispida* Cogn. トウガン(種子:冬瓜子 トウガシ 消炎・利尿・鎮咳・去痰・排膿)

※ *Citrullus vulgaris* Schrader スイカ(果実:西瓜 セイカ 利尿)

※ *Cucumis sativus* L. キュウリ(果実:胡瓜 コカ 利尿・消炎・解毒)

※ *Cucurbita moschata* Duch. カボチャ(種子:南瓜子 ナンガシ 条虫駆除)

※ *Luffa cylindrica* M. Roem. ヘチマ(果実:糸瓜 シカ 鎮咳・利尿)

※ *Momordica charantia* L. ツルレイシ(果実:苦瓜 クカ 解熱・解毒・健胃・止瀉)

●Lythraceae ミソハギ科

Lagerstroemia subcostata Koehne シマサルズベリ:奄・喜・徳・沖(根・葉:拘那花 クナカ 止血・黄疸・瘰癧腫毒・乳腺炎)

※ *Lagerstroemia indica* L. サルスベリ(花:紫薇花 シビカ 小児頭瘡/根:紫薇根 瘰癧腫毒・歯痛・痢疾/葉:紫薇 痢疾・湿疹・創傷出血)

●Myrtaceae フトモモ科

Psidium guajava L. バンジロウ(葉・果実:番石榴 バンセキリュウ 収斂性止瀉・健胃・消炎止血・打撲・抑菌)

Syzygium buxifolium Hook. et Arn. アデク:奄・徳・沖(根・樹皮:打撲傷)

Syzygium jambos Alston フトモモ:奄・徳・沖(根・樹皮:痢疾)

※ *Eugenia uniflora* L. タチバナアデク・ピタンガ(樹皮・根:解熱・健胃・リウマチ・発汗・止瀉)

※ *Psidium littorale* Raddi テリハバンジロウ(根・樹皮・若枝・葉:収斂性止瀉・利尿)

※ *Psidium littorale* Raddi var. *longipes* Fosb. キミノバンジロウ(母種 根・樹皮・若枝・葉:収斂性止瀉・利尿) 止血・止瀉・止痛・疥癬/根:山稔根 止血・止痛・疝氣・痔)

●Punicaceae ザクロ科

※ *Punica granatum* L. ザクロ(根皮:石榴根皮 セキリュウコンピ/果皮:石榴果皮 セキリュウカヒ 条虫駆除)

●Cornaceae ミズキ科

Aucuba japonica Thunb. var. *ovoidea* Koidz. ナンゴクアオキ:奄・徳(生葉:火傷・創傷)

●Araliaceae ウコギ科

Aralia elata Secmann var. *subinermis* Ohwi メダラ:奄・徳・沖(樹皮・根皮:樹木皮 ソウボクヒ 健胃・利尿・抗糖尿)

Dendropanax trifidus Makino カクレミノ【全株:皮膚炎】

Fatsia japonica Decne. var. liukiensis Hatusima, nom. nud. リュウキュウヤツデ(母種 葉:八角金盤 ハッカクキンパン 去痰)
 Hedera rhombea Bean キツタ:奄・喜・徳・沖(葉:常春藤 ジョウシュントウ・土鼓藤 ドコトウ 寄生性皮膚病・腫れ物)
 Schefflera octophylla Harms フカノキ:奄・徳・沖(根皮・樹皮:鴨脚木 オウキヤクボク 感冒発熱・咽喉痛・リウマチ関節痛・打撲傷・骨折/葉 リウマチ骨痛・打撲傷・創傷)

●Umbelliferae セリ科

Cryptotaenia japonica Hassk. ミツバ:奄・喜・沖(全草:鴨見芹 オウジキン 消炎・解毒)
 Oenanthe javanica DC. セリ(全草:水芹 スイキン 去痰・食欲増進・緩下・利尿)
 ?※ Angelica koidzei Koidz. アシタバ(葉:鹹草 カンソウ 利尿・緩下・高血圧予防)
 ※ Bupleurum falcatum L. ミシマサイコ(根:柴胡 サイコ 解熱・鎮痛・解毒・鎮静)
 ※ Foeniculum vulgare Mill. ウイキョウ(果実:茴香 ウイキョウ 健胃・驅風・去痰・鎮痛)

Sympetalae 合弁花類

●Ericaceae ツツジ科

Pieris japonica D. Don ssp. koidzumiana Hatusima リュウキュウアセビ【母種 茎葉:馬酔木 バスイボク 農業用殺虫・嘔吐・瀉下・呼吸麻痺】
 Rhododendron simsii Planch. タイワンヤマツツジ:奄・徳(花・果実:杜鵑花 トケンカ 調經・打撲傷・リウマチ痛/葉:杜鵑花葉 トケンカヨウ 清熱解毒・消腫止血・癰疽疔瘡/根:杜鵑花根 トケンカコン 止血・調經・痢疾・打撲傷・リウマチ痛)

●Myrsinaceae ヤブコウジ科

Ardisia crenata Sims マンリョウ:奄・徳・沖(根・葉:朱砂根 シュサコン 打撲腫痛・外傷骨折・咽喉炎・リウマチ痛・歯痛)

●Oleaceae モクセイ科

Ligustrum japonicum Thunb. ネズミモチ(果実:女貞子 ジョテイシ 滋養強壯)
 ※ Jasminum grandiflorum L. タイワンソケイ・オオバナソケイ(花:香料)
 ※ Jasminum sambac Ait. マツリカ(花:茉莉花 マツリカ 賦香料・止瀉・腹痛)

●Gentianaceae リンドウ科

Gentiana scabra Bunge var. buergeri Maxim. リンドウ:奄・喜・徳(根・根茎:龍胆 リュウタン 苦味健胃)
 Swertia japonica Mak. センブリ:奄(全草:当薬 トウヤク 苦味健胃)

●Apocynaceae キョウチクトウ科

Cerbera manghas L. ミフクラギ・オキナワキョウチクトウ【全株:催吐・瀉下】
 ※ Lochnera rosea Reichenb. ニチニチソウ【全草:抗腫瘍剤(インドール系アルカロイド)原料】
 ※ Nerium indicum Mill. キョウチクトウ【全株:強心配糖体】
 ※ Plumeria rubra L. f. acutifolia Woodson トガリバインドソケイ(花:鷄蛋花 ケイタンカ 痢疾・止咳)
 ※ Rauwolfia serpentina Benth. et Kurz. インドジャボク【根:ラウオルフィア 血圧降下・鎮静・抗不整脈・蛇咬傷】
 ※ Rauwolfia verticillata Baill. ホウライアオキ【根:蘿芙木 ラフボク 血圧降下・鎮静・鎮痛・解熱・利尿/莖葉:蘿芙木莖葉 血圧降下・打撲傷・火傷・蛇咬傷】

※ Strophanthus divaricatus Wall. 【全株:強心配糖体】

※ Thevetia peruviana K. Schum. キバナキョウチクトウ【全株:強心配糖体】

※ Vinca major L. ツルニチニチソウ【全草:インドール系アルカロイド】

●Asclepiadaceae ガガイモ科

Asclepias curassavica L. トウワタ【全草:迎生桂枝花 レンセイケイシカ 強心配糖体(催吐・瀉下・不整脈・痙攣)】
 Hoya carnosa R.Br. サクララン(莖葉:球蘭 キュウラン 清熱解毒・玫瑰風濕・消腫・打撲骨折・癰疽・關節疼痛)

●Rubiaceae アカネ科

Gardenia jasminoides Ellis f. grandiflora Makino クチナシ(果実:山梔子 サンシシ 解熱・消炎・止血・鎮静・利胆・打撲)
 Mussaenda parviflora Miq. コンロンカ:奄・喜・徳・沖(根:白常山・ハクジョウザン マラリア)
 ※ Coffea arabica L. コーヒーノキ(種子:コーヒー豆 カフェイン原料)
 ※ Gardenia jasminoides Ellis var. radicans Makino コクチナシ(果実:山梔子 サンシシ 解熱・消炎・止血・鎮静・利胆・打撲)
 ※ Ixora chinensis Lam. サンタンカ(花:竜船花 リュウセンカ 高血圧・通経・打撲傷/莖葉:竜船花莖葉 打撲傷・癰疽腫毒)

●Convolvulaceae ヒルガオ科

Ipomoea aquatica Forsk. ヨウサイ(莖葉:蕪菜 ヨウサイ 止血・便秘・解毒・打撲傷・蛇虫咬傷・痔瘡・癰腫/根 蕪菜根 ヨウサイコン 白帯・虫歯痛)

※ Ipomoea batatas Poir. サツマイモ(塊根:澱粉原料)

※ Pharbitis nil Choisy アサガオ(種子:牽牛子 ケンゴシ 瀉下・利尿)

●Verbenaceae クマツヅラ科

Lantana camara L. シチヘンゲ(葉:ランタナ葉 発汗解熱・消腫・解毒)
 ※ Clerodendron japonicum Mak. ヒギリ(花:荷苞花 カホウカ 痔瘡・疝氣・不眠/根:荷苞花根 肺熱咳嗽・痔瘡出血・痢疾・リウマチ痛)
 ※ Duranta repens L. ハリマツリ・タイワンレンギョウ(果実:仮連翅 カレンギョウ マラリア/仮連翅葉 瘡癤腫毒)
 ※ Vitex negundo L. タイワンニンジンボク(果実:黄荊子 オウケイシ 感冒・咳嗽喘息・胃痛・マラリア・疝氣・痔漏/根:黄荊根 感冒・喘息・胃痛・マラリア・枝:黄荊枝 感冒・咳嗽・リウマチ痛・歯痛・火傷/葉:黄荊葉 感冒・暑気あたり・痢疾・マラリア・毒蛇虫咬傷・打撲傷)

●Labiatae シン科

Leonurus sibiricus L. メハジキ(全草:益母草 ヤクモソウ 調經・利尿/種子:茺蔚子 ジュウイシ 調經・眼疾)

- ※ *Coleus pumilus* Blanco コモンソウ・ヒメコリウス(全草:金耳環 キンジカン 清涼解毒・痛傷)
 ※ *Ocimum basilicum* L. メボウキ(全草:羅勒) ラロク 風寒感冒・腸炎腹瀉・打撲傷・月経不順・皮膚湿疹・蛇虫咬傷・リウマチ/
 果実:羅勒子 目赤多涙・角膜混濁)
 ※ *Orthosiphon grandiflorus* Bold ネコノヒゲ・クミスクチン(全草:葉:クミスクチン 利尿・利胆)
 ※ *Perilla frutescens* Britton var. *crispa* Deane forma *acuta* Makino シソ(葉:蘇葉 ソヨウ・紫蘇葉 シソヨウ 発汗・解熱・鎮咳・
 健胃・利尿・魚肉中毒/種子:紫蘇子 シソシ 発汗・鎮咳・去痰・鎮静・鎮痛)

● **Solanaceae ナス科**

- Brugmansia suaveolens* Bercht. et Presl キダチチョウセンアサガオ【全株:トロパン系アルカロイド(副交感神経抑制・中枢神経興奮)】
Capsicum frutescens L. キダチトウガラシ・シマトウガラシ(熟果:辣椒 ラッショウ 辛味性健胃・皮膚刺激・疥癬・香辛料)
Lycium chinense Mill. クコ:沖(果実:枸杞子 クコシ 強壯/葉:枸杞葉 クコヨウ 強壯・利尿/根皮:地骨皮 ジコッピ 解熱・降圧)
 ※ *Brunfelsia hopeana* Benth. バンマツリ(根:マナカ根 リウマチ・梅毒・利尿・緩下)
 ※ *Capsicum annum* L. トウガラシ(熟果:番椒 バンショウ 辛味性健胃・皮膚刺激・香辛料)
 ※ *Cestrum nocturnum* L. ヤコウボク(葉 乳腺炎・癰瘡)
 ※ *Lycopersicon esculentum* Mill. トマト(新鮮果実:番茄 口渴・食欲不振)
 ※ *Nicotiana tabacum* L. タバコ【葉・茎:農薬用殺虫】(全草 瘡瘍腫毒・外傷出血・白癩)
 ※ *Solanum melongena* L. ナス(果実:茄子 カシ 解熱・消炎・消腫・止血/果実・蒂・茎葉の黒焼きまたは液汁 皮膚疾患)
 ※ *Solanum tuberosum* L. ジャガイモ(塊茎:洋芋 ヨウウ 澱粉原料)

● **Bignoniaceae ノウゼンカズラ科**

- ※ *Campsis grandiflora* K. Schum. ノウゼンカズラ【花:凌霄花 リョウショウカ 利尿・通経/茎葉:紫葳茎葉 シイケイヨウ・根:紫葳根
 利尿・通経・湿疹】

- ※ *Crescentia cujete* L. フクベノキ・ヒョウタンノキ(樹皮:腸カタル・水腫/若い果汁 水腫・驅風・瀉下/熟果 頭痛/種子 皮膚病)
 ※ *Jacaranda mimosifolia* D. Don ジャカラランダ(樹皮:浄血)

● **Acanthaceae キツネノマゴ科**

- Strobilanthes cusia* O. Kuntze リュウキュウアイ(茎葉:具藍 グラン・青黛 セイタイ 解毒・排膿・消炎・解熱・止血)
Strobilanthes japonicus Miq. イセハナビ(全草:紅澤蘭 月経不順・浮腫・打撲傷)
 ※ *Thunbergia grandiflora* Roxb. ベンガルヤハズカズラ(根:通骨消 ツウコツショウ 打撲傷・骨折・リウマチ)

● **Pedaliaceae ゴマ科**

- ※ *Sesamum indicum* L. ゴマ(種子:胡麻子 ゴマシ・黑芝麻 コクシマ 滋養強壯・粘滑・解毒・油脂原料)

● **Caprifoliaceae スイカズラ科**

- Lonicera japonica* Thunb. スイカズラ:徳・喜・沖(花蕾:金銀花 キンギンカ 解熱・解毒・利尿・葉・茎:忍冬 ニンドウ 解熱・解毒・消炎・
 利尿/果実:銀花子 ギカシ 清涼解毒・赤痢)

- Sambucus sieboldiana* Blume ニワトコ:奄(茎:接骨木 セッコツボク 消炎・利尿・打撲/葉:接骨木葉 利尿・鎮痛・消炎・止血)

● **Valerianaceae オミナエシ科**

- Patrinia villosa* Juss. オトコエシ:奄(根:全草:ハイショウ 敗醬 排膿・消炎・解毒)

● **Campanulaceae キキョウ科**

- Platycodon grandiflorum* A. DC. キキョウ:奄(根:桔梗 キキョウ 排膿・去痰)

● **Compositae キク科**

- Artemisia princeps* Pampan. ヨモギ(葉:艾葉 ガイヨウ 鎮痛・収斂・止血・止瀉・消腫/織毛:モグサ)
Farfugium japonicum Kitam. ツブキ(全草:復甦 タクゴ・蓮蓬草 レンポウソウ 腫れ物・湿疹・火傷・魚類中毒)
Gynura bicolor DC. スイゼンジン(全草:観音菟 カンノンケン 止血・解毒消腫)
Taraxacum albidum Dahlst. シロバナタンポポ:喜(全草:蒲公英 ホコウエイ・根:蒲公英根 解熱・健胃・消炎・利尿・催乳)
Taraxacum officinale Weber セイヨウタンポポ:喜(全草:蒲公英 ホコウエイ 解熱・発汗・健胃・利尿・強壯・催乳)
 ※ *Achillea alpina* L. ノコギリソウ(全草:薔草 シソウ 健胃・強壯・祛風・鎮痛・鎮痙・止血)
 ※ *Arcticum lappa* L. ゴボウ(果実:牛蒡子 ゴボウシ・懸実 アクジツ 利尿・消炎・排膿・緩下・浮腫/葉:牛蒡葉・根:牛蒡 消炎・
 収斂・驅風)

- ※ *Aster tataricus* L. f. シオン(根:根莖:紫苑 シオン 鎮咳・去痰)

- ※ *Calendula officinalis* L. キンセンカ(花:金盞菊 キンセンキク 利尿・発汗・瀉下・止血・利胆・通経)

- ※ *Carthamus tinctorius* L. ベニバナ(管状花:紅花 コウカ 通経・浄血/種子:油脂原料)

- ※ *Chrysanthemum morifolium* Hensl. キク(頭花:菊花 キクカ 解熱・解毒・鎮痛・消炎)

- ※ *Helianthus annuus* L. ヒマワリ(種子:向日葵子 コウジツキシ 油脂原料/葉:向日葵葉 コウジツキヨウ 苦味健胃・利尿/
 花:向日葵花 コウジツキカ 解熱)

- ※ *Stevia rebaudiana* Bertoni ステビア(葉:甘味料)

- ※ *Tagetes erecta* L. センジュギク(花:万寿菊 マンジュギク 感冒発熱・気管支炎・口腔炎・乳腺炎・瘰癧腫毒)

- ※ *Tagetes patula* L. クジャクソウ(全草 咳嗽)

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物

● **Liliaceae ユリ科**

- Hebeclia fulva* L. var. *sempervirens* M. Hotta アキノワスレグサ・トキワカンゾウ(母種 塊根:萱草根 カンゾウコン 利尿・止血
 消炎/蕾:金針菜 キンシンサイ 止血・消炎)

Lilium leichtlinii Hook. fil. var. *maximowiczii* Baker コオニユリ:奄(鱗茎:百合 ビャクゴウ 鎮咳・鎮靜・滋養強壯・利尿)
Liriope platyphylla Wang et Tang ヤブラン(塊根:大葉麥門冬 タイヨウバクモンドウ 鎮咳・強壯・去痰)
Ophiopogon japonicus Ker-Gawl. ジャノヒゲ:奄・喜(塊根:麥門冬 バクモンドウ 鎮咳・強壯・去痰・利尿)
Polygonatum falcatum A. Gray ナルコユリ:奄・徳(根茎:黃精 オウセイ 滋養強壯)
Rohdea japonica Roth var. *latifolia* Hatusima nom. nud. サツマオモト:奄【母種 全草:万年青 マンネンセイ 強心配糖体】
Smilax china L. var. *kuru* Sakaguchi ex Yamamoto オキナワサルトリイバラ:沖(母種 根茎:拔契 バッカツ 解毒・消炎・利尿・皮膚疾患)

※ *Allium cepa* L. タマネギ(鱗茎:胡葱 コソウ 興奮・発汗・利尿)
※ *Allium chinense* G. Don ラッキョウ(鱗茎:薤白 ガイハク 健胃・整腸・去痰・鎮痛)
※ *Allium fistulosum* L. ネギ(偽莖白色部:葱白 ソウハク 発汗・利尿・強壯・興奮)
※ *Allium sativum* L. ニンニク(鱗茎:大蒜 タイサン・葫 コ 強壯・健胃・整腸)
※ *Allium tuberosum* Rottl. ニラ(種子:蘆子 キュウシ 強壯・強精・興奮・鎮痛/葉:韭菜 キュウサイ 止血・解毒/鱗茎:止瀉)
※ *Aloe arborescens* Mill. キダチアロエ(葉:蘆薈 ロカイ・ロエ 苦味健胃・瀉下・火傷・創傷)
※ *Aspidistra elatior* Blume ハラン(根茎:蜘蛛抱蛋 チチュホウタン 活血・利尿・通經・止血)
※ *Chlorophytum comosum* Baker オリヅラン(全草:挂蘭 ケイラン 止咳・消腫・解毒・活血・癰腫疔瘡・痔瘡腫毒・骨折・火傷)
● **Agavaceae リュウゼツラン科**
※ *Agave americana* L. 'Marginata' リュウゼツラン・フクリンリュウゼツラン(葉:金辺電舌蘭 キンペンリュウゼツラン 清熱潤肺・虛勞咳嗽・止血)

※ *Agave sisalana* Perrine サイザルアサ(葉:劍麻 ケンマ 癰腫瘡瘍)
※ *Cordylone terminalis* Kunth センネンボク(葉:鉄樹葉 テツジュヨウ 涼血止血・散瘀止痛・痢疾・吐血・血便・月經過多・打撲腫痛)
※ *Sansevieria trifasciata* Prain アツバチトセラン(葉:虎尾蘭 コビラン 清熱解毒・癰腫腫毒・感冒・打撲傷・毒蛇咬傷)

● **Amaryllidaceae ヒガンバナ科**
Crinum asiaticum L. var. *japonicum* Baker. ハマオモト【全草:嘔吐・瀉下・痙攣】(var. *sinicum* Bak. タイワンハマオモト 葉:羅裙帯 ラクンタイ 癰腫瘡毒・打撲骨折・捻挫・頭痛/根:羅裙帯根 ラクンタイコン 咳嗽・喉痛・打撲傷)
Lycoris aurea Herb. ショウキズイセン:喜・沖【全草:嘔吐・瀉下・痙攣】(鱗茎:大一枝箭 ダイイチシセン 癰腫瘡毒・虫瘡のかゆみ・火傷)
Zephyranthus grandiflora Lindl. サフランモドキ:沖・与【全草:賽番紅花 サイバンコウカ 清熱解毒・消腫・打撲傷・毒蛇咬傷】
※ *Zephyranthus candida* Herb. タマスタレ【全草:肝風草 カンプウソウ 種々のアルカロイド等含有(催吐)】(鱗茎:瘡腫腫毒)

● **Hypoxidaceae キンバイザサ科**
※ *Curculigo capitulata* Kuntze オオバセンボウ・オオキンバイザサ(根茎:大地棕根 ダイチソウコン 虛勞咳嗽・帶下・打撲傷・調經)

● **Dioscoreaceae ヤマノイモ科**
Dioscorea bulbifera L. forma *spontanea* Makino et Nemoto ニガカシユウ(塊根:黃藥子 オウヤクシ 止血・鎮痛・解毒・腫れ物・咬傷)
※ *Dioscorea alata* L. ダイジョ(担根体:台湾で山菜とする)

● **Pontederiaceae ミズアオイ科**
Eichhornia crassipes Solms-Laub. ホテイアオイ(全草・根:水葫蘆 スイコロ 清熱解毒・利尿)

● **Iridaceae アヤメ科**
Belamcanda chinensis DC. ヒオウギ:奄・喜・徳・沖(根茎:射干 ヤカン 消炎・鎮咳・去痰)
※ *Iris florentina* L. ニオイイリス(根茎:イリス根・Orris 健胃・利尿・去痰・燻味矯臭)
※ *Iris germanica* L. ムラサキイリス(根茎:イリス根・orris 健胃・利尿・去痰・燻味矯臭)

● **Juncaceae イグサ科**
Juncus effusus L. var. *decipiens* Buchen. イ(茎の髓:灯心草 トウシンソウ 利尿・消炎)

● **Commelinaceae ツユクサ科**
※ *Rhoeo discolor* Hance. ムラサキオモト(花序:蚌蘭花 ボウランカ 肺熱燥咳・止血・細菌性下痢/葉:蚌蘭葉 ボウランヨウ 肺熱燥咳・止血・痢疾・打撲傷)

※ *Zebrina pendula* Schnizl. シマフムラサキツユクサ(全草:吊竹梅 チョウチクバイ 止咳・咽喉炎・利尿)

● **Gramineae イネ科**
Arundo donax L. ダンチク(根茎:蘆竹根 ロチクコン 清熱利水・寒濕化熱・齒痛)
Coix lacryma-jobi L. ジュズダマ(果実:川穀 センコク 消炎・利尿・鎮痛・水腫)
Miscanthus floridulus Warb. トキワスキ:奄・徳・与(根茎部葉鞘内の虫こぶ:巴茅果 ハボウカ 月經不順・小兒疝氣)
※ *Coix lacryma-jobi* L. var. *ma-yuen* Stapf ハトムギ(種子:慈苡仁 ヨクイニン 排膿・消炎・強壯・鎮痛・浮腫)
※ *Cymbopogon citratus* Stapf. レモングラス(全草:香茅 コウボウ 感冒頭痛・胃痛・止瀉・リウマチ痛・打撲傷・香料・香味料)
※ *Cymbopogon flexuosus* Stapf. インドレモングラス(全草:Lemon grass 鎮嘔・火傷・吐血・香料・香味料)
※ *Cymbopogon winterianus* Jovitt ジャワシトロネラ(葉・茎:香料)
※ *Oryza sativa* L. イネ(穀粒:粳米 コウベイ 止瀉・止瀉・強壯/発芽種子:谷芽 コクガ 消化不良・健胃)
※ *Saccharum officinarum* L. サトウキビ(莖幹:甘蔗 カンショ 止瀉・清熱・去痰・蔗糖原料)
※ *Vetiveria zizanioides* Stapf ベチバー(根茎:発汗・強壯・香料原料)

※ *Zea mays* L. トウモロコシ(雄蕊:南蛮毛 ナンバンモウ 利尿・利胆/果実:玉蜀黍子 ギョクシヨクシツシ 澱粉原料・油脂原料)

● **Palmae ヤシ科**
※ *Areca catechu* L. ビンロウジュ(種子:檳榔子 ビンロウジ 収斂・条虫驅除・染料/果皮:大腹皮 ダイフクヒ 止瀉・健胃・利尿)
※ *Trachycarpus fortunei* H. Wendl. シュロ(葉:棕桐葉 シュロヨウ 収斂・止血/果実:棕桐実 シュロジツ 止血・止瀉)
※ *Trachycarpus wagnerianus* Becc. トウジュロ(葉:棕桐葉 シュロヨウ 収斂・止血/果実:棕桐実 シュロジツ 止血・止瀉)

●Araceae サトイモ科

Alocasia macrorrhiza Schott クワズイモ【根茎:広狼毒 コウロウドク 去痰・鎮痛・利尿】

※ *Colocasia esculenta* Schott サトイモ(塊茎:芋頭 ウトウ 火傷・歯痛・打ち身・消腫・瘰癧・牛皮癬/花:芋頭花 ウトウカ 胃痛・吐血・痔瘡・脱肛/葉柄:芋 ウ 蛇咬傷・虫さされ)

●Pandanaaceae タコノキ科

Pandanus tectorius Parkinson アダン(核果:榕智子 ラコシ 痢疾/葉芽:露兜笏心 ロトウロクシン 清熱解毒・麻疹・発疹・曇気あたり・悪瘡/花:露兜笏花 ロトウロクカ 感冒咳嗽/根・根頭:露兜笏莖 ロトウロクキョウ 感冒発熱・尿路感染・打撲傷・腎炎水腫)

●Typhaceae ガマ科

Typha angustifolia L. ヒメガマ:奄・喜・徳・沖(花粉:蒲黄 ホオウ 止血・通経・利尿)

Typha orientalis Presl コガマ:喜(花粉:蒲黄 ホオウ 止血・通経・利尿)

●Cyperaceae カヤツリグサ科

※ *Cyperus alternifolius* L. シュロガヤツリ(茎根:九竜吐珠 キュウリュウトシュ 蛇虫咬傷)

●Musaceae バショウ科

※ *Heliconia psittacorum* L.f. オウムバナ(根茎:水虫・打撲傷)

※ *Musa sapientum* L. ミバショウ(根:甘蔗根 カンショウコン 解熱・黄疽/汁液:蕉油 火傷/葉:蕉葉 腫毒)

●Zingiberaceae ショウガ科

Alpinia intermedia Gagnep. アオノクマクケラン(種子:黒手伊豆縮砂 クロデイズシュクシャ 芳香性健胃/根茎:廉姜 レンキョウ 胃痛・鎮嘔・止瀉)

Alpinia japonica Miq. ハナミョウガ:奄(種子:伊豆縮砂 イズシュクシャ 芳香性健胃/根・全草:打撲・調経・腹痛)

Alpinia speciosa K. Schum. ゲットウ(種子:白手伊豆縮砂 シロデイズシュクシャ 芳香性健胃)

※ *Curcuma aromatica* Salisb. ハルウコン(根茎:姜黄 キョウオウ 芳香性健胃・利胆)

※ *Curcuma longa* L. ウコン(根茎:鬱金 ウコン 芳香性健胃・利胆)

※ *Curcuma zedoaria* Rosc. ガジュツ(根茎:莪朮 ガジュツ 芳香性健胃・痲痛・驅瘀血)

※ *Zingiber officinale* Rosc. ショウガ(根茎:生姜 ショウキョウ 芳香性健胃・矯味矯臭・食欲増進)

●Cannaceae カンナ科

Canna indica L. ダンドク(根茎:美人蕉根 ビジンショウコン 瘡毒瘰癧・月経不順・白帯/花:美人蕉花 止血)

※ *Canna edulis* Ker-Gawl. ショクヨウカンナ(根茎:澱粉原料)

●Marantaceae クズウコン科

※ *Maranta arundinacea* L. クズウコン(根茎:澱粉原料)

●Orchidaceae ラン科

Dendrobium tosaense Mak. キバナセッコク:奄(茎:石斛 セッコク 強壯・消炎・健胃)

※ *Dendrobium moniliforme* Sw. セッコク(茎:石斛 セッコク 強壯・消炎・健胃)

※ *Bletilla striata* Reichb. fil. シラン(球茎:白及 ビャッキョウ 止血・排膿・粘滑・緩和)

PTERIDOPHYTA シダ植物

●Psilotaceae マツバラ科

Psilotum nudum Griseb. マツバラ(全草:石刷把 セキサハリウマチ性関節炎・打撲傷・吐血・月経閉止)

●Selaginellaceae イワヒバ科

Selaginella tamariscina Spring イワヒバ(全草:巻柏 ケンパク 止血・通経・打撲傷・鎮痛・消炎・収斂)

※ *Selaginella uncinata* Spring コンテリクラマゴケ(全草:翠羽草 スイウソウ 清熱・解毒・止血・驅瘀血・止瀉)

●Equisetaceae トクサ科

※ *Equisetum hyemale* L. トクサ(地上部:木賊 モクゾク 収斂・止血・利尿)

●Cyatheaceae ヘゴ科

Cyathea spinulosa Wall. ex Hook. ヘゴ:奄・徳・沖(茎幹:飛天螭粉 ヒテンキンロウ 清熱・鎮痛・打撲傷・疥癬・リウマチ性関節炎)

●Davalliaceae シノブ科

Davallia mariesii Moore ex Baker シノブ:奄・徳(根茎:骨碎補 コッサイホ 補腎・活血・止血・打撲傷・接骨・歯痛・耳鳴り・刀傷・魚の目)

●Oleandraceae ツルシダ科

Nephrolepis auriculata Trimen タマシダ(葉・全草:腎蕨 ジンゲツ 清熱・解毒・痢疾・疝気・瘰癧・火傷・乳房腫痛・刀傷)

●Parkeriaceae ホウライシダ科

Adiantum capillis-veneris ホウライシダ(全草:猪鬃草 チョソウソウ 去痰・利尿・消腫・解熱・止痛・打撲傷・鎮咳・乳腫・尿路感染)

●Pteridaceae イノモトソウ科

Pteris multifida Poir. イノモトソウ:奄(全草:鳳尾草 ホウビソウ 解熱・解毒・止血・消腫)

●Polypodiaceae ウラボシ科

Pyrosia lingua Parv. ヒトツバ:奄・徳・沖(全草:石韋 セキイ 利尿)

参 考 文 献

- 上原敬二：『樹木大図説』有明書房，1971，東京
大井次三郎：『改訂新版 日本植物誌 顕花篇』至文堂，1965，東京
奥田拓男編：『天然薬物事典』廣川書店，1986，東京
鋪木敏一・高城正勝：『種子島自生植物目録，衛生試験所報告 第98号 154~172』1978，東京
北村四郎他総監修：『週刊 朝日百科 世界の植物（1-120）』朝日新聞社，1975-1978，東京
木島正夫他編：『廣川 薬用植物大事典』廣川書店，1986，東京
佐竹義輔他編：『日本の野生植物 草本Ⅰ~Ⅳ』平凡社，1982，東京
佐竹義輔他編：『日本の野生植物 木本Ⅰ・Ⅱ』平凡社，1989，東京
最新園芸大辞典編集委員会：『最新園芸大辞典（1-8）』誠文堂新光社，1968-1976，東京
柴田桂太：『資源植物事典』北隆館，1961，東京
杉本順一：『改訂増補 日本草本植物総検索誌Ⅰ 双子葉編』井上書店，1978，東京
杉本順一：『日本草本植物総検索誌 単子葉篇』井上書店，1973，東京
杉本順一：『改訂増補 日本草本植物総検索誌Ⅲ シダ編』井上書店，1979，東京
杉本順一：『新日本樹木総検索誌』井上書店，1972，東京
鈴木洋：『漢方のくすりの事典 -生薬・ハーブ・民間薬-』医歯薬出版，1994，東京
塚本洋太郎監修：『園芸植物大事典（1~6）』小学館，1988，東京
離波恒雄ら編：『生薬学概論』南江堂，1990，東京
橋本裕郎：『ブラジル産 薬用植物事典』アボック社，1996，鎌倉
初島住彦：『改訂 鹿児島県植物目録』鹿児島植物同好会，1986，鹿児島
初島住彦：『北琉球の植物』朝日印刷書籍出版，1991，鹿児島
初島住彦：『琉球植物誌』沖縄生物教育研究会，1971，沖縄
初島住彦・天野鉄夫：『琉球植物目録』でいご出版社，1977，沖縄
室井紳：『有用竹類図説』六月社，1962，大阪
- 江蘇新医院編：『中薬大辞典』上海科学技术出版社，1977，上海
广西壮族自治区中医薬研究所編：『广西薬用植物名録』广西人民出版社，1986，南寧
原色中国本草図鑑編集委員会：『原色中国本草図鑑』雄渾社，1985，京都
Bailey, L. H. :『The Standard Cyclopaedia of Horticulture』The Macmillan Co., U. S. A., 1930
Graf, A. B. :『Tropica』Roehrs Company, U. S. A., 1978
National Science Council of the Republic of China:『Flora of Taiwan』Epoch Publishing Co., Taiwan, 1976
Tanaka, T. :『Tanaka's Cyclopaedia of Edible Plants of the World』Keigaku Publishing Co., Tokyo, 1976

沖縄県八重山諸島の民間薬と伝承民間医療

京都薬科大学附属薬用植物園

後藤 勝実

沖縄県は太平洋の西縁にならぶ日本列島の最南西端に位置し、西に中国大陸、西南は台湾に面し、北は硫黄島(27° 40' N)から南は波照間島(24° 02' N)まで、東は北大東島(13° 21' E)から西は与那国島(122° 56' W)の範囲にあり、弧状に連なる161の島嶼からなり、沖縄諸島(大東島含む)、宮古諸島、八重山諸島(尖閣諸島含む)からなっている。古くから南方との交易を行い、日本の南の玄関口となっている。

沖縄県の大地形は沖縄・宮古・八重山群島の位置する琉球弧とフィリピン海の内海にある大東諸島、東支那海大陸棚にある尖閣列島に区分される。島は大きく山地の発達する高島と隆起サンゴ礁などからなる低島とに分けられる。高島の山地は主として酸性土壌、低島および本部層はアルカリ土壌を形成し、島の生態系は大きく異なることになる。

沖縄県は亜熱帯海洋性モンスーン気候の性格をもつ6月から10月までは亜熱帯高気圧(小笠原気団)におおわれ、南風が卓越し、その間台風が高頻度で襲来する。10月中旬から6月下旬の梅雨期の終わりまで北東季節風が卓越する、また、暖かい黒潮の影響を受けるために年中温暖湿潤な気候である、年平均気温は22.4℃、年間降水量は2128.2mm、年平均風速4.5m/s(以上那覇市)を示すが、山地部では年間降水量が3000mmを越し、年平均気温や年平均風速は南の島ほど高い値を示す。冬季の北東季節風や台風は島の植生に大きな影響を与えている。

沖縄県の自然植生としての森林は高島を主体に分布する山地林と低島を主体に分布する低地林とに区分される。今回調査した石垣島、西表島は高島に属し、竹富島、鳩間島は低島に属する。したがって各島の自然植生は大きく異なっている。また、隆起サンゴ礁からなる低島や石垣島、西表島の低地部には一部の石灰岩地帯を主体に分布し、特異な植生を見せている。

本調査で一番時間を費やした西表島の植生について簡単に触れておきたい。西表島に住む人たちにとって、利用する薬草類の採集範囲は島の低地部だけではなく、ある程度の森の深いところで採集されている例が見られるからである。

西表島は山地に広がる亜熱帯性常緑広葉樹林、海岸河口部に発達するマングローブ林などがみれ、南西諸島の中では最も自然性の高い島である。北緯24° 15' ~24° 26' の間にあり、台湾の台北よりも南に位置している、島の中央部に波照間森(447m)、テドウ山(442m)、御座岳(420m)、古見岳(470m)など300~400m程度のいくつもの峯が存在する。水系は主に東西方向に流れ、仲間川、後良川などは東の方向に流れ、太平洋にそそいでいる。浦内川、ヒナイ川、仲間川、クイラ川などの各河川は西方向に流れ東シナ海にそそいでいる。各河川は源流域で網目状に分流し、美しい溪流を形成している。これらの河川は河口部で遠浅となりマングローブの発達をみるが、とくに浦内川と仲間川の下流域に我が国では最も大規模なマングローブ林域が広がっている。

主な集落は、島の東側に大原、古見地区が、北側に船浦、上原地区が、西側に浦内、星立、祖納、白浜地区がある。

西表島の気候は年平均気温23.3℃であり、最寒期の1月においても月平均気温は17～18℃で霜及び雪はほとんど皆無である。年間の降水量は島嶼としては比較的多く、2377mmである。このように島は海洋性の亜熱帯性気候環境下にあるといえる。したがって高温多湿な亜熱帯性の気候条件を反映して植物相はきわめて多彩である、亜熱帯から熱帯に分布する植物が広く分布し豊富である。そのため薬草としてクワズイモ、コウシュンモダマ、アダンなど表1八重山地方の薬草に示した熱帯、亜熱帯性の植物の利用などにも現れている。

沖縄に生活する人たちの健康に関する気配りは、単に体の不調を除くための、それなりの薬草を用いるだけでなく、病気を治すために生活のなかから体験と知恵で多くの治療法、滋養食が生み出され、暮らしに根づいている。滋養食は薬物(クスイムン)ともいい、地域にある素材を組み合わせたたり、あるいは単品で煎じたり、あえもの、しぼり汁などにしたりして、症状に合わせて食用とする薬効のある食べものをさす。それらはまさに「医食同源」にもかなったものである。

また、竹富島での聞き取り調査から、興味ある民間伝承療法を知ることが出来た。

竹富島は八重山諸島のなかでも、民間療法にすこし変化のあるものが見られる。ほとんどの八重山諸島の民間療法は表1に示したように薬草とする植物を主に単味で使用しているのに対して、この島ではそれらに加えて、種々の薬になるものを組み合わせて作る「取りあわせ薬」が古くから知られていることで、沖縄本島、宮古島、石垣島などにも見られるものである。その組み合わせ方(処方)は経験の集積の結果と考えられるものが大部分を占めている。

聞き取り調査によれば、九種の薬味を取りあわせた九品薬(クヌシナクスリ、クナシナスル)、七種の薬味を取りあわせた七品薬(ナナシナシナクスリ、ナナシナスル)、五種の薬味を取りあわせた五品薬(イチシナクスリ、イツシナスル)、三種の薬味を取りあわせた三品薬(ミーシナクスリ、ミーシナスル)などである。

万病の薬(サギグスイ)九品薬について

その材料は、ビロウ(畑クバ)、メドハギの茎葉(マーヤブー)、バンジロウの新芽(バンシルのフキ)、ニンジンの根、シソの葉、アダンの新芽(アザのフキ)、スラシの根、マダケの葉、ニガナの根などの九品の薬草を刻んで陰干しにして、それを煎じてお茶がわりに毎日飲むと、胃腸がよくなり、体の痛みや便通がよくなるということである。

他の組み合わせ例では、ニンニク、ボタンボウフウ、ニガナ、マダケの新芽、ウイキョウ、メドハギ、シソ、キンバイザサ、アキノワスレグサの九種を取り合わせることも知られている。

湿布薬、下げ薬の七品薬について

その材料は、リュウキュウマツの葉、ニンジンの根、シソ、カラシナの種子、塩、酒の酢、水の七品目で、その製法は、まずカラシナの種子を酢につけて、残りの薬草は、臼にて碎き、酢につけたカラシナの種子はすり鉢に入れてよくすりあわせ、先に碎いた薬草を入れ塩、水を混ぜて、洗面器に入れカンテキに炭火をおこし、それにのせて体温ぐらいまで温め、それを湿布薬にして腰からみぞおちのところまでタオルで湿布する。

それを長期間続けることにより、肋膜炎が治癒したと聞き取った。

他の組み合わせ例には、キンバイザサ、ヨモギ、メドハギ、バンジロウの葉、ニガナ、シソ、ウイキョウが知られている。

胃腸、利尿の五品薬について

ヒマの葉柄（アカタングサノハ、アカタングサノウデ）、ベニカンゾウの根（ハンソノネ）、ウイキョウの根（ニンジンキョウノネ）、バンジロウの葉（トゥシヌシンメ）、タケの新芽（タイヌフキ）の五品の薬草を刻んで陰干しにして、それを煎じてお茶がわりに毎日飲むというものである。

他の組み合わせ例は、サンキライ、オオイタビ、カヤの根、ウイキョウ、ボタンボウフウの根がある。

喘息の三品薬について

ウイキョウ、ショウガ、黒砂糖の三品を合わせて服用する。

また、竹富島の民間療法としては以下のようなものがある。

せき止めの薬には、カツオのヒジガラ（カツオの削り節）一合、黒胡麻一合、黒豆一合、ニンニク一合、味噌一合を材料とするもので、初めに黒胡麻と黒豆とヒジガラを鍋で煎る。次に臼で粉にする。ニンニクと味噌はすり鉢で摺り、先の粉末を加えすり鉢で良く摺り、咳が出るとその薬を少量ずつ食べて咳を止める。

女性が出血したときの救急療法としては、赤ガジマル木（ガジュマル？）の皮をとって臼で碎き煎じて飲ませると共にその木の皮で子宮をあたためて出血を止める。

ボウコウ炎等の薬としては、ヒマ（アカタングサ）を煎じて服用する。

腎臓の薬または熱冷しの薬としては、クロツグ（フガラ、マーニーギ）を焼いて灰にし、その灰に水を加え用器に入れて澄ましその上澄みを服用する。

沖縄（八重山地方）での聞き取り調査の中、下げ薬（サギグスイ）とか発散薬（ハッサングスイ）と云う表現が出てくる。下げ薬とは体内にある有毒なまた不愉快なものを下げることによって体外に出すと云うようなニュアンスであり、下剤とは少々異なるものであり、民間薬の大部分がこの範疇に入ると思われる。同じように発散薬も結果的には発汗などを伴った解熱作用を期待するようなものもあるが、この両者の概念は、漢方医学やの要素により近いのではないかと思われる。

八重山地方は、地域によって植物の呼称がほとんど同じではなくまた、植物の部位によっても呼び方が異なっている。これは同じ島内でも集落によっても同じことが言えるので、調査は容易でないが、有形の資源（民間薬の種類）、無形の資源（民間薬にまつわる知識）を問わずこれらの知識を持った人たち特に高齢者の知識の情報を蒐集しておくことが急務と考える。

植物名	八重山名	部位	症状	用法	地域
アキノラスレグサ	バンスウ	全草	腎臓、膀胱炎	煎じて服用	西表島祖納
アダン	アダヌ	新芽	はしか	煎じて服用	鳩間島
イウタバコ	ヒトツバ	全草	腎臓	煎じて服用	西表島祖納
イウニガナ	イウノンガナ	生の汁	マラリアの解熱	直接飲む	西表島祖納
			腹痛	煎じて服用	石垣島石垣市
ウイキヨウ		根	風邪	煎じて服用	石垣島石垣市
ウゴン	ウツチン	根茎	腹痛	煎じて服用	石垣島石垣市
		根茎		煎じて服用	鳩間島
		根茎		煎じて服用	石垣島石垣市
		根茎		煎じて服用	鳩間島
カニンソウ		全草	駆虫、腹痛	煎じて服用	石垣島石垣市
クチナシ	ヤマフチヤ	葉	皮膚病	暖めた葉を患部に貼る、膿が出やすい	西表島祖納
クマタケラン	ヤマサニ			偽基の切断面でヤマイギの毛を除く	西表島祖納
クロツグ	ヤニ	新芽	神経痛	煎じて服用	西表島星立
クロズイモ	カサヌバ	汁	ハアに噛まれたとき	患部に塗り込む	西表島祖納
			葉柄の絞り汁	患部に塗る	西表島祖納
			樹液	日に直接入れる。	鳩間島
コウシユンモダマ	アハナカツツア	蔓せいの茎	目に良い	目に直接入れる。	鳩間島
サカキカズラ		樹皮	解毒	バラフエダイ(アハナ)の毒(シガテラ毒)	西表島祖納
サキシマスオウノキ	ダイミヨウキ	樹皮	肝臓	ウゴンと一緒に煎じる	西表島祖納
		樹皮	神経痛の鎮痛		西表島星立
シヨウガ		根茎	風邪	煎じて服用	石垣島石垣市
ソテツ	シトウチ	葉	刺抜き	焼いて出来る灰を御飯粒で練って、患部に貼っておく	西表島祖納
				煎じて服用	西表島祖納
ソメモノイモ	モール	塊根	腎臓、肝臓	煎じて服用	西表島祖納
チガヤ	ガヤ	根	腎臓に良い	煎じて服用	鳩間島
ツルソバ	スンパン	地上部	打ち身	他の薬草と合わせて煎じて服用	西表島祖納
デリス	デリス	根	解毒	根の汁をうすめたもの	西表島祖納
トウガラシ	クース	果実		目に良い	鳩間島
ハツカ		地上部	胃病	(製糖会社の持ち込み)	石垣島石垣市
ハマオモト	フケル、サ	偽茎のスポン		患部に貼ると膿がでやすい	西表島祖納
	デイフカー	シ状組織			
ハルウゴン	ハルウツチン	根茎	腹痛	煎じて服用	石垣島石垣市

表1 聞き取り調査による八重山地方の薬草

ヒラミレモン	クンガニヤー	果汁	ハブクラダゲに刺された時	果汁を塗布	西表島祖納
ピロ		乾燥した葉	腎臓病からくるむくみ	煎じて服用	西表島祖納
ゾクソウダ	ゾクソウバナ	葉の絞り汁		リンスに利用	西表島祖納
ヘゴ		芯	熱冷ましに	ゆがいてアクを抜いたものを食す	西表島星立
ホソバワダン			腹痛	煎じて服用	石垣島石垣市
ボタンボウフウ	サクナ	地上部	万能薬	煎じて服用 (長命草)	西表島祖納
ナルヤマシユウカイドウ	スソ	葉	毒消し		西表島祖納
モッコク	イゾキ	材	解毒 (魚)		西表島祖納
モンパノキ	カンキョウキ	生葉の絞り汁	ハブクラダゲに刺された時	患部に塗る	西表島祖納
ヨモギ		生の汁	芯熱をとるとき	直接飲む	西表島祖納
		生の汁	微熱をとる	黒砂糖をいれて飲む	西表島星立
		地上部	腹痛、胃病		石垣島石垣市
		生の汁	風邪の時、発汗、解熱の効有り		鳩間島
	フーチバ				
リュウキユウアイ	シマアイ	生の汁	膀胱炎	直接飲む	西表島祖納
稲葉		地上部	止血	焼いて出来る灰を付ける。灰は何でもよいがイネの灰が一番よい	

その他、下記のような民間伝承療法も知られている

生のニンニクに泡盛と塩を入れて暖めて身体にぬると、発汗、解熱の効有り

シシダマ (ジユジユダマ)、ミカンの皮、オオバコに黒砂糖を入れたものはせき止めに良い

タマゴの黄身と刻んだトウモロコシは破傷風によい

チガヤ、ヨモギの根、ピロの葉、ハトムギを煎じて熱冷まし

みかん類 (タンカン、ヒラミレモン、ウンシユウミカンなど) の果皮を乾燥させ、黒砂糖を加えて煎じて風邪薬に

風邪の予防にニンニクをネツクス状にして首にかけておく

サカキカズラの項 ヤマイギはチョウウの幼虫 (イワサキカレハ) で毛に毒がある

モッコクの項 沖繩の漁船 (サバニ) の船べりはこの材を使用し、漁師が魚の解毒に用いる

鳩間島
鳩間島
鳩間島
西表島星立
石垣島
石垣市
鳩間島

表1 聞き取り調査による八重山地方の薬草

厚生科学研究費補助金（ヒトゲノム・遺伝子治療研究事業）
分担研究報告書

静岡県南伊豆町におけるシダ植物の分布調査
(分担研究者) 飯田 修 伊豆薬用植物栽培試験場場長

研究要旨 静岡県伊豆半島の植物分布調査の一環として、同県南伊豆町の「走雲峡」道路沿いに分布するシダ植物の調査を行った。その結果、12科38種を確認した。最も多い科はオシダ科で、12種みられたが、固有種及び希少種はみられなかった。

A. 研究目的

静岡県伊豆半島にはオドリコカグマ、ハイコモチシダ(ジョウレンシダ)をはじめ多くのシダ植物が分布しているが、種を同定することが困難なこともあり、地域を特定した集中的な調査が少ない。そこで、伊豆半島における植物調査を始めるに当たり、伊豆薬用植物栽培試験場近隣地におけるシダ植物に関する定点調査を行った。

B. 研究方法

調査日：1999年8月26～29日

調査地点：静岡県賀茂郡南伊豆町加納から同町石廊崎に至る通称「走雲峡」の全長約6kmの道路沿い（北緯34°36'～34°39'、東経138°50'30"～138°51'30"）。

方法：全行程を地形の変わり目により4区間に分け、それぞれ道路沿いのシダ植物を全て採取した。採取標本は番号を付け、伊豆薬用植物栽培試験場に保存してある。

C. 研究結果及び考察

12科38種を確認した。最も多く見られた科はオシダ科で、12種。フモトシダ、ヤマイタチシダ、ミソシダ、ホシダは全行程で見られた。カニクサ、イワガネソウ、イノモトソウ、コバノカナワラビ、オリツルシダ、アイアスカイノデ、イワヒトデ、ノキシノブ

及びヒトツバは限られた地点に分布していた。また、イワガネソウ、コバノカナワラビ、オリツルシダ及びイワヒトデは海岸に面した地点で見られた。固有種及び希少種はとくにみられなかった。

D. 結論

12科38種のシダ植物を確認した。最も多く見られた科はオシダ科で、12種。また固有種及び希少種はみられなかった。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

走雲峡のシダ植物

学名	和名	採集地点
1.Osmundaceae	ゼンマイ科	
1.Osmunda japonica Thunb.	ゼンマイ	1.2.3.
2.Gleicheniaceae	ウラボシ科	
2.Dicranopteris linearis (Burm. fil.) Underw.	コシダ	1.2.3.
3.Gleichenia japonica Spr.	ウラボシ	1.2.3.
3.Schizaeaceae	フサシダ科	
4.Lygodium japonicum (Thunb.) Sw.	カニクサ	3
4.Dennstaedtiaceae	コバノイシカグマ科	
5.Microlepia marginata (Panzer) C. Chr.	フモトシダ	1.2.3.4.
6.Pteridium aquilinum (L.) Kuhn var. latiusculum (Desv.) Underw. ex Hell.	ワラビ	1.2.3.
5.Lindsaeaceae	ホングウシダ科	
7.Sphenomeris chinensis (L.) Maxon	ホラシノブ	2.3.4.
6.Parkeriaceae	ホウライシダ科	
8.Coniogramme intermedia Hieron.	イワガネゼンマイ	1.4.
9.C. japonica (Thunb.) Diels	イワガネソウ	4
10.Onychium japonicum (Thunb.) Kunze	タチシノブ	1.2.3.
7.Pteridaceae	イノモトソウ科	
11.Pteris cretica L.	オオバノイノモトソウ	1.2.4.
12.P. multifida Poir.	イノモトソウ	3
13.P. nipponica Shieh	マツザカシダ	2.4
14.P. dispar Kunze	アマクサシダ	3.4.
8.Blechnaceae	シシガシラ科	
15.Woodwardia orientalis Sw.	コモチシダ	1.2.3.
9.Dryopteridaceae	オシダ科	
16.Arachniodes sporadosora (Kunze) Nakaike	コバノカナワラビ	4
17.Cyrtomium falcatum (L.fl.) Presl	オニヤブソテツ	2.3.4
18.C. fortunei J.Sm.	ヤブソテツ	2.3
19.Dryopteris bissetiana (Bak.) C.Chr.	ヤマイタチシダ	1.2.3.4.
20.D. erythrosora (Eaton) O.Ktze.	ベニシダ	1.2.3.
21.D. fuscipes C.Chr.	マルバベニシダ	2.3.
22.D. lacera (Thunb.) O.Ktze.	クマワラビ	1.2.3.
23.D. sacrosancta Koidz.	ヒメイタチシダ	1.3.
24.D. uniformis (Makino) Makino	オクマワラビ	1.2.
25.Polystichum lepidocaulon (Hook.) J.Sm.	オリヅルシダ	4
26.P. longifrons Kurata	アイアスカイノデ	1
27.P. polyblepharum (Roem. ex Kunze) Presl	イノデ	1.2.3.
10.Thelypteridaceae	ヒメシダ科	
28.Stegnogramma pozoi (Lagasca) K.Iwats.	ミゾシダ	1.2.3.4.
29.Thelypteris acuminata (Houtt.) Morton	ホシダ	1.2.3.4.
30.T. decursive-pinnata (van Hall) Ching	ゲジゲジシダ	1.2.3.
31.T. glandulifera (Kunze) Ching	ハシゴシダ	2.3.
32.T. parasitica (L.) Fosberg	ケホシダ	1.3.
33.T. torresiana (Gaud.) Alston var. calvata (Bak.) K.Iwats.	ヒメワラビ	1.2.
11.Woodsiaceae	イワデンドコ科	
34.Athyrium niponicum (Mett.) Hance	イヌワラビ	1.2.3.
35.Deparia japonica (Thunb.) M.Kato	シケシダ	2.3.
12.Polypodiaceae	ウラボシ科	
36.Colysis elliptica (Thunb.) Ching	イワヒトデ	4
37.Lepisorus thunbergianus (Kaulf.) Ching	ノキシノブ	3
38.Pyrrosia lingua (Thunb.) Farw.	ヒトツバ	3

石廊崎

伊豆松崎

至子浦

至市之瀬

至毛倉野

至大賀茂 139

